

会長 幹事長 会計 広報 書記

志清会は、あきる野市議会で志を同じくする11名の議員による政策グループです。

										
ほりえ たけし 堀江 武史(45) ▽ 淵上 6回	うすい けん 臼井 建(53) ▽ 秋留 3回	よしざわ ゆたか 吉澤 雄孝(64) ▽ 伊奈 2回	うらの はるみつ 浦野 治光(67) ▽ 草花 2回	くにまつ まさき 國松 正輝(46) ▽ 五日市 1回	こごもり としひと 子籠 敏人(49) ▽ 菅生 5回	あまの まさあき 天野 正昭(66) ▽ 小和田 4回	むらの えいいち 村野 栄一(55) ▽ 二宮東 4回	くぼしま せいいち 窪島 成一(68) ▽ 平沢 3回	ひはら しょうご 日原 省吾(57) ▽ 野辺 3回	なかむら かずひろ 中村 一広(54) ▽ 秋川 3回
都市整備	行財政等	医療・福祉等	環境・経済	観光・移住・定住	子育て・教育等	農林・獣害	公共交通等	生活・高齢者	デジタル等	商工業・防災

※上段：氏名、年齢 / 中段：住所、当選回数 / 下段：担当



市民の皆様、本年もよろしくお願い申し上げます。
この志清会だよりも平成21年の第1号の発行以来、今号で50号となりました。
会派の結成以来、続けてきたこの会報の発行を通じて、
今後も会派で取り組んでいる活動について、市民の皆様への説明を尽くしてまいります。
そして、私たち志清会は、安定した市政を前進させるため、皆様の声を聴きながら
あきる野市が飛躍する1年となるよう、積極的に政策提言などの活動を行い
輝かしいあきる野づくりに取り組んでまいります。

令和5年の最優先課題の一つ「地域公共交通対策」

令和5年の最優先課題の一つが地域公共交通対策です。

志清会では、昨年10月31日にデマンド交通(チョイソコ)などの
市内公共交通に関する要望書を市長に提出し、市の体制づくりを

はじめ、行政、地域住民及び交通事業者が協力して全体像を描き、
計画的に充実させるよう求めてまいりました。

田村都議・東京都との意見交換会



西秋川橋周辺歩道の視察

あきる野市の最も大きな課題は、都市基盤整備の遅れです。

この課題に取り組むためには東京都による支援が必要になるため、田村利光都議会議員に調整していただき、昨年11月11日に東京都西多摩建設事務所の幹部職員と当市の都市基盤整備の課題について、意見交換を行いました。

まず、戸倉地区内の都道(檜原街道)の狭い歩道を視察しました。特に、当該歩道は西秋川橋で狭くなっており、地元住民などから改善の声が多く寄せられていました。東京都からは、「技術的にどのようなことができるのか検討していく。」という前向きな見解が示されました。

その後、五日市出張所において、東京都から道路整備(国道411号線鯉川橋付近の拡幅計画の状況、永田橋交差点の豊坂から草花住宅に流入する雨水排水処理の早期実現、都市計画道路秋3・3・9号線草花大橋開通の見通しなど)及び河川整備(秋川、平井川、鯉川など)について、事業の進捗状況などの説明を受け、質疑応答を行いました。



田村都議、東京都との意見交換会

とりわけ、草花大橋通りについては、用地買収が89%(令和3年度末)になったことを踏まえ、暫定的な交通開放についての説明もありました。

私たち志清会からは、各事業についての着実な推進をお願いするとともに、課題のある事業の積極的な展開を図ることを要望しました。これからも市民の快適な生活環境の向上を図り、産業の発展を促すためにも、東京都の力を得ながら、着実に都市基盤整備を推進していきたいと思っております。



志清会要望の
全容はこちら

志清会公式ホームページより
ご覧いただけます。



令和5年度予算要望提出

昨年11月16日に志清会は、あきる野市の来年度予算編成に向けての要望書を中嶋市長に提出しました。

長引く新型コロナウイルス感染症や価格・物価高騰の影響がある中ですが、市民生活を守り、本市の持続的発展や活性化のため最重点5項目及び重点89項目を令和5年度予算に反映していただけるよう、市へ要望するものです。

最重点項目には、以下の5項目を挙げています。

最重点項目(5項目)

- 1 行政のデジタル化の推進
- 2 デマンド交通(チョイソコ)の本格運行に向けた検討
- 3 東秋留駅南口のロータリーなどの整備
- 4 学校におけるプール授業の改革
- 5 秋川高校跡地を中心とした土地利用の推進

また、重点項目は、高齢者・障がい者施策の推進、子育て支援、農商工業の振興、環境対策や教育の充実などを内容としています。

私たち志清会は、これからも皆様の声をしっかりと受け止め、施策や予算に反映するよう努めてまいります。



左から中嶋市長、堀江会派長、白井幹事長



来年度予算編成要望書

公式ホームページよりご覧いただけます。



会派視察(長野県長野市及び千曲市)

昨年10月19日、20日に長野県長野市で開催された全国市議会議長会研究フォーラムに参加及び長野県千曲市のまちづくりチャレンジ事業などを視察しました。研究フォーラムでは、議会のデジタル化について、先進事例が紹介されました。



研究フォーラム

この本質は、自然災害等の危機への対応と、住民と議会との双方向性による新しい関係性の構築にあり、昨今のコロナ禍においてその重要性がより高まったと言えます。あきる野市議会においては、非常時に常任委員会をオンラインで開催可能とすることが決定されましたので、今後、オンラインを通じて、様々な試みを検討することになり、今回の学びが活かされると思います。

また、千曲市役所では、まちづくりチャレンジ事業や子どもの居場所づくり支援事業について視察しました。特に、まちづくりチャレンジ事業では、市民や学校の団体が社会貢献のアイデアを出し合い、市がその活動資金を補助する制度でした。あきる野市においても、この先進事例も参考にしながら、更なる協働のまちづくりが展開できるよう取り組んでまいります。



千曲市役所の視察

会派視察(不登校関連 教育支援室など)

文部科学省が昨年10月に発表した調査結果によると、昨年度の全国の小中学校の不登校児童生徒数は、過去最多の24万4940人(前年度比4万8813人増)を記録しました。これはコロナ禍での一斉休校やストレスなども影響していると見られていますが、東京都内でも不登校の児童生徒数は増加傾向にあり、2万人を超えました。この中であって、あきる野市の不登校児童生徒数は187人(令和3年度末)となっています。

あきる野市では、不登校の状況にある児童・生徒に対する支援として、教育委員会の教育支援室(せせらぎ教室)において、学校復帰

を促す取組を行っており、志清会では昨年11月10日に、このせせらぎ教室を訪れて現状を確認するとともに、市内でフリースクールを営んでいるチャレンジ学習塾も訪問し、現場の声を伺ってきました。



フリースクールの説明



不登校、教育支援室(せせらぎ)の説明

現場の声を聴く中で見えてきたことは、教育支援室をより機能させていくとともに、この支援室をはじめとする関係機関と学校を丁寧につないでいく支援体制の強化などの必要性を感じました。

今後、志清会では、不登校対策や支援内容について、情報収集や調査研究を重ねながら、支援体制の充実に努めていきます。

政策・活動はホームページでもご覧いただけます。

自由民主党 志清会

お問い合わせ先

☎ 070-4342-6863

志清会

検索

<https://www.akiruno-jimin.tokyo/>

